

第 49 回市民ふれあいトーク = 学生が主役のまちづくり =

日時 平成 25 年 12 月 19 日 15:30~17:00

場所 岡山学院大学・岡山短期大学

要約版

市長

皆さんこんにちは。今日は学校での市民ふれあいトークということで、岡山学院大学様、岡山短期大学様にお話をさせていただきましたところ、今日の日だったら可能ですということ、お時間を頂きまして大変ありがたく思っております。

この市民ふれあいトークが一体どのようなものかということから、少しお話をしたいと思います。大体 1 ヶ月に 1 回、大学だったり、地域の町内会だったり、公民館だったり、市の広報紙で公募しまして、そこに興味がある方が来て下さって一緒にお話しをしたり、思っていることを言っていたりして、勿論、私が全部答えられることばかりじゃないんですけども、皆さんが今どういうことに関心があるのかなということ、私や市の職員たちも来ているので伺いしながら、今後の倉敷市が進んでいく道と言いますか、こういうことに興味がある人が多いなとかということはこの市民ふれあいトークを通じて、キャッチし、掴んでいって、市政に反映していきたいと思ってこの会を始めました。私が市長になりまして、2 期目ですけど、1 期目の途中から始め、50 回近く開催しております。延 3,000 人ぐらいの方と。その中でも学生さんとお話しをする機会があまりなくて、今日この場所に来ることができて大変嬉しく思っております。皆さんの関心事項とかでお話できればいいなと思っております。大体いつも最初に、私が 10 分か 15 分くらい、今倉敷市がおかれている現状だったり、最近の倉敷市のトピックスとかを話して、その後皆さんにお話をしてもらったり、それに対して私が答えたり、考えを言ったりという形で進めていくようになるかと思っておりますので、よろしく願いいたします。

最初に、倉敷の市立短期大学も児島にありまして、市外・県外から来られる方が結構多いので、お話をする時の参考に。この中で倉敷市に実家がある人はどのくらいでしょうか。はい、3 分の 1 くらい。倉敷市以外の岡山県内に実家がある人、20% くらいですね。今手を上げた方以外で中国地方に実家がある人。結構多いんですね。それ以外の地域に実家がある人。はい、結構いらっしゃるんですね。ちなみのちょっと聞いても良いですか。「高知県です。」「香川県です。」(参加者) 実家が四国の人、やっぱり結構多いですね。ちなみに自分が一番遠くから来ているなと思う方、「千葉県」(参加者) きっと一番遠いかも知れませんが。市内の方も県内の方も、四国の方もいらっしゃるということで、お話をしていきたいと思っております。

皆さんが住んでいる倉敷市、人口は今 48 万人です。48 万人と言いますと、この中国地方では広島市が 120 万人で一番大きいです。2 番目に大きいのが隣の岡山市が人口 70 万人。そして 3 番目が私たちの倉敷市が 48 万人で、ちなみに瀬戸内海の隣に行って福山市さんが 47 万人で、ほとんど倉敷市と同じぐらいの人口で、且つ両方とも J F E の鉄工所があるということで非常に市の性格も似ていますし、市としても仲良くしているという状況になります。中国地方の中では 3 番目に大きくて、倉敷に来たことがある人はかなり多くいらっしゃるんじゃないかと思っております。

そして、倉敷市はどういう印象を持ってもらっているかというと、パッと思いつく所で

言うと、倉敷の美観地区が一番有名かなと思いますけれど、この美観地区の1年間の観光客の方は350万人くらい来られていまして、岡山県の他の観光地と比べると、岡山に岡山城、後樂園が有りますけれど、その観光客の方が大体1年間に63万人くらい、あとは深山公園だったり、同じ倉敷市の児島の鷲羽山が160万人だったりということで、岡山県内では倉敷市の観光客の方の数がダントツに多いというのが倉敷市の外から見た印象といたしますか、客観的な状況であります。

それからあと、私が倉敷市のPRで、児島のジーンズを世界にPRするというので、国から補助金をもらいましてフランスに行ってきた。そこでフランスのパリの展示場で児島のジーンズとか、児島の畳べり、また倉敷の美観地区を宣伝したりとか、外国の人が私たちの町にどういう印象を持っているのかなと思って、色々インタビューとかしてみたいです。フランスの人がどう思っているのかちょっと見るために、フランス語は分からないんですが、本屋さんに行ってみました。フランスの本屋さんで観光ガイドブックがありまして、日本がどういうふうに書いてあるのかを、わからないながらにきって行きたい場所が大きく写っているんだなと思って、開けてみたくて。そうしたら勿論東京、それから京都、大阪、奈良とか載っているんです。その後どこが載っていたかという、大阪の次は神戸、神戸の次は倉敷、倉敷の次は広島、広島の次は福岡、倉敷のページは合計で4ページありました。京都は勿論多くて8ページか10ページあったんですけど。その4ページの内、岡山の後樂園が最後のページに半ページくらい、後樂園と津山とそれから備前焼と新見のスキー場とか載ってまして、フランスの方にとって倉敷というのは、非常に観光地として、且つ文化的な印象が高い街だということを感じていらっしゃることがわかりまして、大変嬉しかったんです。今、日本は皆さんも授業やニュースで見られると思いますけれど、外国からお客さんを1000万人、日本にvisit Japan計画ということで、たくさん来てもらおうと。またこの前12月4日には世界無形文化遺産に和食がなったんですけど、日本に対する印象が非常に上がってきている状況の中でこれから、倉敷から世界に対して発信することが、益々効果的だなということを感じて帰ってまいりました。

さてお話が色々するわけですけど、この倉敷市の特色は何かということで、ここから私ばかり話すのではなくて、皆さんに簡単な質問です。倉敷の印象とは何でしょう。場所とかここが好きとか、倉敷というと自分はここがパッとイメージが湧く。この列の方、何が思い浮かぶか教えてください。

参加者

- ・美観地区 ・駅から近いアリオ ・同じなんですけど美観地区 ・自然豊かな感じ
- ・この前名古屋の方に行ったら大原美術館のことをすごく褒められましたので、大原美術館が印象に残っています。

はい、ありがとうございました。今1列お話を頂きましたが、そのうち2人以外は大原美術館、美観地区のことを言われまして、ありがとうございました。確かに先ほどの世界から見た倉敷、それから全国の人が美観地区にたくさんいらっしゃるということで、倉敷の中で客観的に一番有名だといえば美観地区の大原美術館とか、それから柳の所の倉敷川の風景とか、それから今ちょっと奥の通りに昔からある町家とかが、大変多くの方がいらっしゃっているわけで、それは勿論のことなんですけれど、実は私が倉敷市の中で非常に良いと思っている場所はここだけじゃあないんです。先ほど言ってくださったんですけど、

倉敷市にはとっても色んなものがあります。倉敷市民の方だけじゃないと思いますので、色々申し上げたいと思いますけれども。

各地区でいくと、瀬戸大橋がある児島、児島には世界で1番大きな橋があります。実際のところは先般、中国で大きな橋が出来たんで、2番目になったんですけども、世界で1番大きな鉄道と車が通れる併用橋、これは瀬戸大橋です。数年前に中国に大きなものが出来ましたけれども、それまで何十年も世界で1番大きな橋だということで、その橋を見るために多くの観光客の方が来られていました。この倉敷市には日本で最初とか1番とか、世界で1番というものがたくさんあります。この橋もそうです。それから同じ児島で言えば、皆さんが着ていらっしゃる服もそうかもしれませんし、つい先ごろまで着ていた学生服、セーラー服。セーラー服の生産は日本のほとんど、すべての8割、9割は倉敷市児島で作っています。この児島から全国各地に入学式のシーズンの直前になったら、物凄い分量を発送しているんです。児島の繊維産業というのは日本の中でも、且つ世界の中でも非常に有名です。だからデニム、ジーンズが有名ということもあるんですけども、有名です。そして児島で言えば鷺羽山があります。王子が岳があります。それはどこかという瀬戸内海国立公園と言われている、中学校の地理で習ったと思うんですけど、瀬戸内海国立公園には倉敷市の部分だけじゃなくて、勿論玉野もそれから小豆島とか四国の屋島とか全部入ってるんですけども、瀬戸内海国立公園は日本で一番最初に、昭和9年に国立公園に指定された場所が、倉敷市の直ぐ南側のそのエリアです。そこと九州の雲仙・霧島と、この倉敷市の地域が日本最初の国立公園、最も美しい場所だということで最初に指定されたというのがあります。

それから日本一といえば児島の直ぐ西側に水島があります。この水島にある水島コンビナート、このコンビナートの中に色々な企業があるんです。先ほどJFEさんとか言いましたけれども、例えば三菱自動車、三菱自動車の世界で一番大きい工場は倉敷市の水島事業所です。且つJFEの鉄工所ですね、この鉄工所が福山と倉敷を合わせて、世界で一番大きな粗鋼生産量と言いまして、大きな鉄鉱石の鉄鋼の型を作る所としては、世界で一番大きい事業所、単体の事業所としては大きいものです。例えばクラレさんとか、JXさんとか、たくさん石油精製とか、石油化学の工場がありますけれども、この工場も例えばJX日鉱日石、新日本精製は日本の中では一番大きな製油所をこの倉敷市の水島に持っています。とか、例えばクラレさんの工場が前はアリオの所に、その直ぐ近くの酒津の所に工場があったんですけども、今玉島の方に大きな工場が移っています。クラレで作っているポパールフィルムという薄い薄膜があるんですけども、この薄膜は確か世界の70%をクラレの工場で作っている。日本で一番とか、世界で一番とか、そういうものがこの倉敷市にはたくさんあります。まだまだありますよ。

玉島は、元々、桃で有名です。ブドウで有名です。今でも当然有名ですし、岡山県内でも岡山市と倉敷市玉島の桃。白桃の生産は日本の中でも物凄く貴重なもので品質が高いものだと言われてますけれども、その農業の生産としては倉敷市の中でも群を抜いているこの玉島、真備、船穂の地域の桃とかブドウとか、マスカットオブアレキサンドリア、緑色のブドウがあります。とっても高いです。これは日本の温室で作っているマスカットオブアレキサンドリアは、元々はエジプトのアレキサンドリアという都市で作られて、あのクレオパトラも食べたと言われているんです。そのブドウの温室で作っているものの約8割近くは倉敷市の船穂町で出来ています。玉島ハーバーアイランドという沖に、大きな工場

地帯があるんですけども、そこに4月、飛行機の工場が来ました。飛行機の、世界で一番大きなチタンで出来た材料を作る工場が出来て、こことロシアとフランスぐらいしか世界の大きな工場はないというような状況になっています。同じ玉島ハーバーアイランドに、もう何年も前から来てくれている中島プロペラさんという、船のプロペラを作る工場ですよ、この船のプロペラを作る工場は、日本の中でも非常に高い割合、国内シェアは確か70%だったかと思いますが、世界の中でも3割ぐらいの船のプロペラのシェアを占めている。等など凄く色々たくさん一番古いとか、一番大きいとか、勿論最初に言ってくれた大原美術館は日本で一番最初に出来た、私立の西洋近代美術館です。フランスのルーブル美術館の人、アメリカのメトロポリタンミュージアムオブアートの人も、大原美術館のある倉敷市から来たと言いますと、「ああ、大原美術館ですか。あそこは本当に素晴らしい。うちの美術館以上に素晴らしい物が置いてありますよね。」と必ず言われるのが大原美術館ですし、美観地区の町並みを大変貴重に残しているというのは、日本の中でも倉敷市と金沢。

この倉敷で一番良い所はどこかというのは中々ないんですけど、その中でも私はこの有城、天城、また藤戸地区は日本全国の人が誰でも知っている場所であるというのが、皆さんが今勉強している地域、藤戸です。藤戸の源平合戦があった場所であり、かつ直ぐ近くで言えば屋島の戦いであるとか、また壇ノ浦、西側の方へ行くとありますけれど、この瀬戸内海の地域には非常に水運の便利が良くて、その代わりに逆に、源氏と平家の戦いがある時にこの地に来て、凄く激しい戦いがあったということがあります。源平合戦があったということは皆さんも良く知っていると思います。藤戸の盛綱橋に行ったことがある人、手を挙げてください。はい3人。ありがとうございました。結構少ないですね。盛綱橋というのは佐々木盛綱さんという源氏の当時大変有名な武将の人が、直ぐこの近くですよ、皆さん。今、自分たちが勉強している学園というのは歴史的にとっても重要な場所であることを、良く踏みしめながら勉強した方が絶対いいと思いますよ。

皆さんも住んでいる場所で大体分かると思いますけれど、倉敷市は児島も島、水島も島、連島も島、玉島も島という字が付いています。初めて倉敷市に来る観光客の方とか車で来た人は、玉島のインターで降りるとなると海の近くに行くのかなとか、水島に行くとなると海がすぐ近くなのかなと思われる人がいるくらい、島の名前が多いのはなぜかと言うと、ほとんど海だったり、海から中に入っている海峡だったりする所で、交通の要所と言うか、色々な交易が行なわれたりするいい港だということだったんです。瀬戸内海があって南側に四国があります。源平の合戦で源氏と平氏が、平地と島があり、戦場としては戦いやすいというか、隠れたりとか、どこからし掛けたらとか、そういうことがあって、平氏は屋島に大きな陣をひいて、そして源氏はこちらの方から来て、この学校の直ぐ近くの藤戸の所で大きな源平の藤戸合戦というのがあったんです。その時に一番の功を上げたのがさっき言いました佐々木盛綱さんという、盛綱橋といって藤戸の所にあります赤い橋に、武将の像があるんですけど、そこがとんでも有名で源平合戦が好きの人、歴史が好きの人がそこに大変来ますし、その盛綱さんが情勢はどうかなと眺めてみた所が学校の近くにある乗り出し岩だったり、藤戸の所にある経ヶ島といって源平の合戦の時の供養をする為に作った塔だったり、また藤戸寺というお寺が有りますけれども、そこは源平合戦の人を供養するために源氏が建てたお寺だったりということで、非常にこの場所というのは歴史的にとっても重要な場所です。この場所ですどちらかがどういうふうになっていたら、日本の歴史は多分

随分変わっていたんじゃないかと思うぐらいの場所ですし、その場所で勉強されていることは私はすごいことだと思います。

歴史の話ばかりになってしまったので、そろそろ止めますけれども、もう一つ私が皆さんにお話したいことは、倉敷市の中に11の大学があると言いましたけれども、岡山学院大学さん、そして岡山短期大学さんには素晴らしい学科があります。幼児教育の学科は岡山県内では一番最初にその学科が作られて、例えば岡山県内の色々な幼稚園や保育園の園長先生は、園長先生ですから結構年上です。60歳近くとか50歳代の方は、岡短出身の方が非常に多いです。大変歴史のある学校であり、且つこれからの社会にとって皆さんが勉強されている食物栄養学科は非常に大切な学科であると私は印象を持っています。ですので、最初に私の気持ちばかり言うようになってしまいましたけれども、生徒の皆さんには色々頑張ってもらいたいなという気持ちを持っています。今から自分が頑張っていることとか、市に対して質問とか、皆さんが思っていることとか、こういうところが良くなればいいのかとか、何でも言ってもらえたらと思います。

参加者Aさん

私は去年の春からここ倉敷に引越しをしてずっと独り暮らしをしています。まず、倉敷に来た当初はとても明るくて活気のあるいい町だと感じました。私の地元出雲はとても穏やかで自然に恵まれているいい町なのですが、倉敷は観光名所も多く、人々で賑わっていて出雲と違う良さがたくさんあるなと思いました。しかし、良い所もあれば改善点もあるわけですが、私からは交通問題について2点申します。

第1に、バス路線の問題があります。倉敷駅方向にはバスの路線が多く、比較的通いやすいのですが、茶屋町駅方向にはバスがなく困っている学生が多いと聞きます。私も良くバスを利用しており、とても役立っています。倉敷市は観光客も多いので、バス路線の充実が今後の倉敷の発展につながると感じました。

第2に、交通マナーの問題が上げられます。私たちの大学の周りは街灯が少なく、夜スピードを出す車がいてとても危険です。夜間だけに限らずスピード違反をしたり、信号無視をしたり、ウインカーなしで車線変更したりする車がいるので、傍から見ていてとても危ないです。皆が安心して暮らせるためには、交通マナーの改善が必要不可欠だと感じました。先にも述べたように、倉敷には良いところがたくさんあります。特産品がたくさんあり、お店もたくさんあるだけじゃなく、海や山が近くにあり、身近に自然が感じられる倉敷の町が私はとても好きになりました。そんな倉敷をより良い町にする為に、安心安全なまちづくりが必要だと思いました。以上です。

市長

どうも有り難うございました。出雲ご出身ということで、倉敷市にとっては非常に身近な里美香奈ちゃんが、高校は大社高校ではないですか。出雲では勿論、出雲大社が一番有名だと思います。日本の神様が集まる所ですから、日本人だったら出雲か伊勢には必ず行きたい。今年は式年遷宮もあって、本当に多くの方が全国から来られて、本当に出雲は素晴らしい所だと思います。私も何回も行きましたし、勿論、町の性格がちょっと違うかなと思いますけれども、里見香奈さんという日本の女性の将棋の強い人が出雲のご出身で、倉敷でも知っている人が非常に多いんです。

そしてバス路線と交通マナーについてお話を頂きました。まず、交通マナーの方から言いたいと思います。出雲と比べても交通マナーが悪いような感じがするんですね。これは確かに。警察、各地に交通安全の協助手さんだとか、交通安全母の会の人だったり、色々な交通に関する組織があつて。子どもが学校へ行く時間帯には通りに立って黄色いエプロンをして、声掛けをして危なくないように旗を持ってくれたりという交通安全母の会の人だったり、お巡りさんのような制服を着て道路に立ってくださっている交通安全協助手の人だったりいらっしゃるんですけど、その人達からも交通マナーが倉敷市は非常に悪いということを言われています。それで交通の関係の皆さんと市も一緒になって、色々取り組みをしているんですけど、中々そう簡単には良くなっていないのが現状です。それは何故なんだろうかと私も思うんですけど。例えば東京だったらウインカーを出さなかったら即事故につながると思いますが、倉敷はウインカーを出さなくて車線を変更しても、大丈夫だと思っている人が多いのかもしれない、啓発活動が少ないなと感じています。ですので、もっと啓発活動をしたり、警察の方も携帯電話の違反とか力を入れていくと言ってくれているので、皆で取り組んでいかないといけないと思っております。やっぱりイメージが悪いですね。しっかり頑張りたいと思います。

それから、倉敷市の行政の課題の中でも、バス路線というか公共交通については倉敷市だけじゃないんですけども、非常に問題になっています。今、我々は車を運転できる世代ですけど、年齢が高齢になっていったら皆が車を運転できるわけじゃないんで、買い物難民でスーパーに行けないということになってくるので、どうしようかと話し合っています。一つには、やり方としてバスの事業者の人、例えば両備バスとか下電バスとかあるんですけど、バスの事業者の人にもっと頑張ってもらえるように、例えば止めようかと思っている路線の所をもっと活発にしてもらえるような何か政策と一緒にやるとか。若しくはバスがない所では、住民の人で乗り合いタクシーという公共交通を作ってもらって、市から補助金を出しているんですけども、そこで1回300円ぐらいで、主要な駅まで行ってもらえるような仕組みを作ろうとか、ということをやっています。色々な交通政策を組み合わせたいかなと思っておりますが、学生の皆さんも困っていらっしゃるということはお分かりました。交通政策により力を入れないといけないなと今、感じております。どうも有り難うございました。

参加者Bさん

岡山短期大学幼児教育学科2年の者です。私はこの倉敷で生まれ、この20年間倉敷で過ごしてきました。来年1月にある成人式の実行委員としても活動しています。その中で改めて倉敷市について知ることが出来ました。一つ目は白壁の屋敷や、倉敷川沿いの柳並木などの古き情緒を、今も色濃く受け継いできた美観地区です。外国人の観光客も多く見られ、ゆったりとした雰囲気の中で過ごすことが出来ます。二つ目は日本有数の重化学コンビナートがある水島地区です。鉄鋼や石油化学、自動車、食品などの多種多様な工場が立ち並ぶ産業エリアで、旧鷺羽山スカイラインから見渡す夜景は、すごく感動します。また、れんこんやごぼうなどの野菜作りも盛んな町で、成人式当日にも食材の提供をお願いしています。その他にも児島のジーンズや瀬戸大橋、玉島の桃や船穂のマスカットなどの一次産品、文化・歴史・伝統工芸など、魅力の溢れる街だと思っています。20年間過ごしてきましたが、今後も倉敷市で就職して過ごしていきたいと思っています。

私は現在保育について学んでいます。卒業後は倉敷市の幼稚園もしくは保育所に就職しようと考えています。その中で、臨時職員の方も多いと聞いています。臨時職員は正規の職員と比較しても、仕事内容も変わりはないと思います。私が実習でお世話になった園にも、臨時職員の方がいらっしゃったんですけど、臨時職員の方は早く帰られる日もあったり、毎日園にいるわけではありませんでした。その園を利用している子どもや保護者からすると、毎日いてくれる正規職員の方にも安心して相談したり、そういうことができていたんですけど、臨時職員の方には気軽に相談する姿が見られませんでした。正規職員を増やすことで利用する側が安心して相談できる保育者が増えると思っています。その結果で保育の質の向上に繋がると私は考えているんですが、どう思われますか？

市長

はい、大変すごい市議会の質問みたいな質問をいただきまして、ありがとうございました。今、幼児教育のほうで、勿論、正規職員の方が多い方がいいと私も思っております。ただ、園によって、人数の増減があったり、なかなか全員正規職員でというわけにもいかないのも実情なんです。今日は幼児教育の学科の方がたくさんいらっしゃっていると思いますが、これからまた重要になってくるのが、聞いたことがあるかもしれないけど、平成27年の4月から子ども子育て支援新制度というのが出来ます。子ども子育て支援新制度、簡単に言うと、幼稚園と保育園の垣根がもっと低くなるような制度が、27年4月から新しく始まることとなります。皆さん、幼稚園教諭とか、保育園保育士の資格を両方取られる方も結構多いんですね。出来れば両方取られた方が、その後やりやすくなると思います。でも、もちろん保育園がなくなるわけでもないし、幼稚園がなくなってしまうわけでもありません。どちらかだけという方も勿論大丈夫ですけど。今の現状では幼稚園の方が保育園よりも、特に公立幼稚園の方が入所が空いている。なぜかと言うと、保育園のほうへ行きたい人がものすごく多くて、保育園は待機児童がいて、入れない状況になっているけれど、幼稚園の方は比較的入りやすい状況になっています。これを解消するために、垣根をちょっと下げて、認定子ども園、という単語を皆さん聞かれたことがあるかもしれませんが、両方とも一体的にいけるようなやり方ができた、ということが27年4月からになります。私は今よりも、新しく27年4月になってからは幼稚園や保育園、また認定子ども園に通わせたいという人は、非常に増えると思います。皆さんがしっかり頑張っていて、手に職をつけてくだされば、就職の道も今よりもまた良くなるんじゃないかと思います。制度が大きく変わるということが、一つ大きなことです。市としても、正規職員をなるべく増やしていこうと思ってるんですけど、制度も大きく変わるので、どういう配置の仕方というのは、これから一年かけて考えていく感じになります。はい、ありがとうございました。

参加者Cさん

食物栄養学科の2年生です。僕はダンスをちょっと頑張っていて、市長さんと会えると思うので、今日も縁なのかなと思って。ダンスをやっている場所というのが、倉敷市役所で、夜にやってみて、食堂のところで。毎週水曜日にしています、ありがとうございます。

市長

食堂の前のところですか。たまにラジカセ持ってきて。分かりました。そうでしたか、何人かグループでされてますよね。そのダンスだったんですね、社交ダンスかなと思ったんだけど。ストリートダンスですね。家は倉敷市なんですか。

参加者Cさん

はい、倉敷市です、自転車で通っています。

ちょっと真面目な話になるんですけど、食育についての話なんです。僕は食育については、子どもに食育をするのではなく、保護者だったり、お父さん・お母さんに向けての食育がもっと大事なのではという、家庭からの食育、というのが大事なと思うんですが、市長さんは、どっちに重きを置いているか、どちらが大切かと思われませんか。

市長

はい、ありがとうございました。私も、どちらかという親御さんの方が大事かな、と思っています。でも、両方とも実際は大事で。お家では親御さんが当然ご飯を作って一緒に食べる、その状況と、例えば保育園とか小学校とかで給食を食べる、その両方が子どもにとっては、自分の原体験になるんじゃないですか。だから、小さい時に自分がどういう食事をしたというのが、子どもが大きくなっていく時に、社会との関わりだったり、大きくなって子どもができた時に、どういうふうに子どもにご飯を作ろうかということになる。学校で食育のことでやっているのは、地産地消とかで、地元の連島れんこんとかごぼうとかを給食に出したりとか。たまには地元の農家の人やお米を作ってもらっている人に来てもらって、もしくは農業体験をして、一粒の米を作るのがどれほど大変かを体験して、ご飯を大事に食べなきゃと思いますよね。一方で家に帰ったら、親御さんが愛情こめてご飯を作ってくれるわけですけど、親によっては、核家族でどんな献立を作ったらいいのかよく分からないから、いつも冷凍の電子レンジでチンをして冷凍食品ばかり出している親御さんもいらっしゃるということも聞くので、そういう人たちには、当然バランスが取れている学校のメニューを公開して、その家の参考にしてもらって、こういうのを作ればいいんだとか、もしくは学校でこういうのを食べてるから、家では違うのを作ってもらおうとか、もしくは保護者会で食育の大切さを親の方にも言ったりしています。

もう一つは、今日は食物科の方も多いと思うんですけど、各地域で食育まつりとか、栄養祭りをやっています。倉敷市には、各地域で栄養改善協議会といって、これは昔、栄養が乏しかった戦後とかの頃に、いかにして栄養のある食事を各地で広めていこうかということで、地域の中に栄養委員さんという人が置かれて、その人たちが、工夫して少ない素材の中で、じゃあゴマをつけたら栄養がよくなるとか、そういうことを普及してくれていたのが今も各学区にあります。もし皆さん機会があったら、その各学区の栄養まつりに出してもらって、ここだったら、学区でも大きいのをやってるんじゃないかと思うので。もしかしたら出た人もいるかもしれないですけど、出てもらったらいいんじゃないかと思います。はい、ありがとうございます。ダンスも頑張ってください。

参加者Dさん

岡山短期大学2年です。私は、引っ越して水島に来ているんですけど、牛窓に住んでいて、牛窓と水島の車の流れが違って怖いと思ったのと、倉敷に来る時に混んだりする

こともあって、もっと車線を増やして欲しいなと思うことがあります。

市長

はい、分かりました。牛窓も、日本のエーゲ海と言われるきれいなところでいいですね。私も行ったことがあるんですけど。

水島の交通のことだと思います。特に水島はコンビナートの車も多く、朝夕の通勤の時にはものすごく混みますよね。でも日中にはあいていたりして、また夕方には混んで大きなトラックが来る時はまたちょっと危なかったりということで。水島の道は倉敷市内の他の道よりも、一応ちょっと広く作っております。それはトラックが通ったり、当然ものすごく大きなトラックが曲がる時には、半径も非常にかかるんで、大きな道にしたりということもしてるんですけど、今言われたような、道が混んできるとか、若しくは、ここの車線だけ非常に右折のところが連なって、信号3回くらい待たないと曲がれないとか、色んなお話もありますので、定期的に地域の方からお話を聞いて、それを受けて市が警察とかと協議をして、じゃあ車線をちょっと変えてくださいとか、信号の時間を長くしてくださいという話をしたりしています。該当の車線になるかどうか分からないんですけど、少しずつ改善するよう頑張りたいと思いますので、気をつけて運転したり、バスに乗ったりしてください。ありがとうございました。交通のことはやっぱり多いですね。

参加者 E さん

こんにちは、岡山短期大学幼児教育学科2年の者です。私は玉島に住んでいるんですけど、玉島の駅前がマルナカとかがあったりして、結構栄えているんですが、駅前以外のところがちょっと、過疎ではないんですけど、ちょっと静かな感じがするので、もうちょっと発展したものがほしいと思っています。

市長

はい、ありがとうございました。新倉敷の駅前是非常に発展してきていると思います。家はどの辺ですか？駅から近いんですか？

参加者 E さん

ちょっと遠くて、柏島のほうです。

市長

柏島のほう、はい、分かりました。玉島は、今は新倉敷の駅の近くの方がひらけていますけれども、以前は玉島商業高校がある所、NTTがある所とか、両備ストアがある所とか、あの辺りが、つまり羽黒神社の所、玉島支所から南側一体の所が、元々の玉島の中心地と言われていて、色んな商店街があるところでした。ここも非常に倉敷市内では重要な場所で、今は確かに駅前が非常に盛んに感じるんだけど、元々は羽黒神社、住吉山の所に、水谷さんというお殿様がやって来られて、東北の山形からやって来たんだけど、そこで水谷さんが藩を開いて地域を活性化させてくれた中心がその近くの所なんです。何故かと言うと、そこには高梁川が流れていて、すぐ南側の海に繋がっているんで、玉島は本当に大きな一大港というか、玉島の港が開かれたのが、今から350年以上前で、すごく発展し

ているところで、昔の町並みも残っている所もありとあるじゃないですか。

それで、今すごくいいことを言ってくれたんですけど、新倉敷の駅の方は、JRも山陽新幹線も通ってるんで、それ用に古い町並みから皆さんの了解をいただいて、大きな区画整理をして町を造ったんです。市がこれから取組んでいきたいと思っているのは、今住まれている柏島とか、住吉山とか羽黒神社とか、清心町、仲買町のあたり、古い玉島の町並みの地域を、もっと活性化をしていきたいなと私も思っていますし、地域の人たちも思ってるんです。とかく、町並みって言うと、倉敷の美観地区の町並みばかりをパッと思ったりしちゃうんですけど、ただ、倉敷市内には今言ったように、美観地区もそうですけど、昔からの海運、海の流通で、児島にも少し残ってるし、玉島にもわりと残ってるし、倉敷は大原さんがいらっちゃったんで、一体で残したということもあったんですけど、玉島の方の町並みをもっと残していこうという運動が、今段々起こって来てるんです。かつ、玉島は元々、海運の町だったんで、商人の方が非常に多くて、商人の方はいろんな地域から人が来られるんで、もてなしをしますよね。その時に、お茶の文化がものすごく盛んで、家でお茶室を持ってらっしゃるところとか、もしくはお茶とかお菓子のお店が非常に盛んで、今もそういう所がたくさんあります。そういうものをみんなで発展させたり、貴重な残ってる町を保存して、もっとお客さんに来てもらえるようにということを、今まさに取り組んでいるところなので、色々関心を持ってもらったら、町の人たちも頑張ってくれるんじゃないかと思います。市もしっかり頑張ります。ありがとうございました。

参加者Fさん

岡山短期大学幼児教育学科2年です。去年の12月、山田方谷さんという幕末に備中松山藩の財政建て直しに貢献された学者で、その後、徳川江戸幕府のほうに行かれた方がいらっちゃったそうで、その方の大河ドラマを作ろうという署名活動に、私もアルバイトをしている所で誘われてしたんです。

倉敷には、大原孫三郎さんがいらっちゃって、やっぱり世界的にも有名な大原美術館でしたり、明治期に今のアイビスクエアに紡績工場を持っておられて、労働者の待遇でしたりとか、労働環境なども非常に整備されて。私たちは保育の勉強で、ロバート・オウエンさんというイギリスの方で、工場法の整備などをされた方のことを習ったんです。大原孫三郎さんは、日本のロバート・オウエンと呼ばれているくらい、すごい方らしいんですけど、そういった大原孫三郎さんを題材にして大河ドラマを作る、という働きというか、運動みたいなものをして、観光客の誘致といいますか、倉敷をもっと盛り上げるというのをちょっと思ったんですが、いかがでしょうか。

市長

ありがとうございました。まず、山田方谷さんのことから。山田方谷さんの署名活動をして、これは倉敷市も参加してまして。山田方谷さんは、我々のちょっと北の高梁市の出身で、高梁市が中心になって、我々の倉敷市を流れる高梁川、北は新見から、南は倉敷市まで、高梁川の水は、流域のところだけじゃなくて、例えば、笠岡とか、浅口とか、里庄とか、矢掛とか、井原とか、早島とか、それから玉野にも、実は水が行ってるんです。岡山にも一部行っています。昔から水は非常に貴重だったので、すぐ川の近くのところにある市ばかりじゃなかったんで、水道管ですごく長い距離を送って、もちろん料金はもら

ってるんですけど、そういうことで水のつながりがあって、高梁川流域の皆で、山田方谷さんの大河ドラマ化を頑張ろうということで、市も一生懸命署名活動をしました。現状では、来年は黒田官兵衛さんにもう決まっていますし、その次の年が、女性の主人公でこの前決まったばかりで、もう決まっていますので、またその次を狙って、今いっています。まだあきらめてないですけど、まあすぐ1~2年で来そうではないです。大河ドラマは、女性が主人公だというのが、非常に重要なポイントらしくて、最近では。まあ来年の黒田官兵衛さんは、ジャニーズの方ですけど。今年の八重さんもそうでしたけど。NHKとしては、山田方谷さんプラス周辺の人たちも色々調べてらっしゃるということ聞いてます。やっぱりストーリーがないと、壮大なドラマを作らないといけない。

それで、大原さんのドラマについてですけど、これは非常にいい考えですね。私も何度かNHKの方にアプローチをしたりしてるんですけども、なかなか簡単なものではありません。ただまず、朝ドラからやってみようかなと思ひまして、大河ドラマはちょっと大変そうなので。朝ドラなら半年で変わるから、確率も倍になるので。皆さんも見られてるかもしれませんが、2個ぐらい前の「カーネーション」という朝ドラがあったじゃないですか。尾野真千子さんが主人公。カーネーションの時、美観地区が最初、子どもの頃の映像ですごく何回も出てきて。ロケでは結構使われてるんです。ただ話という意味では、あの大原さんが題材になったというのは、連続ものではないんですけど、今言われたように、労働史とか、クラブウとかクラレとか、そういうものの中ではいつも出てきますし、もちろん大原美術館の時にはいつも必ず出てくるということで、非常に重要な方です。いつ実現するか分かりませんが、引続き頑張りたいと思います。署名が必要になりましたら皆さんに呼びかけたいと思います。ありがとうございました。

参加者Gさん

僕は茶屋町に住んでいまして、東陽中学校出身です。少子高齢化と言われてはいますが、すごい生徒が増えていて。僕が中学2年の時にも校舎が足りなくて、プレハブを作ったんです。今も足りないみたいで、もう1個プレハブを作っています。野球部だったんですけど、グラウンドにプレハブを建てたので、野球部が練習できない状態が続いていて。他のグラウンドとかを借りてやっているんですけど、ちょっと、かわいそうかなと思って、どうにかできないかと。お願いします。

市長

非常に具体的な話をいただきまして、茶屋町の話ですけど、茶屋町は今、倉敷市の中でも、一番人口が増えているいくつかある地域の中の一つです、現実問題。今だけでなく、ここ十何年かくらいから、だんだん増えてきて、かつ、岡山とかに通勤の便も良いので、すごく、家を構える人が多くなっていて、非常に注目のスポットであり、人気のスポットです。

それに伴って、茶屋町小学校は非常にマンモス学校化してしまっていて、中学校2年の頃ですから、7年前くらいですかね、その頃から非常に大きくなっている、今プレハブを建てていますけれど、1つには学校の耐震化をしているというのが1つあります。もう1つは、多少安心してもらえると思うんですけど、真ん中のところの昔からある体育館があります。体育館が二つあるでしょう、茶屋町小学校は。その校庭に近いほうの体育館、一番古

い体育館を取り壊して、新しい校舎を建てかえて、そこにもっとクラスが入れるようにして、プレハブの校庭のところを解消するように、今、設計を進めていまして、来年ぐらいから取り掛かるような状況になっています。かといって、広いグラウンドが実現するかというと土地も限られているので、難しいかもしれないんですが、今のようなグラウンドに教室が2列くらいプレハブが建っていると思いますので、それを解消されるようにはなりませんので、あと2・3年くらいでなるかと思います。地域の人に聞かれたら、もうちょっと待ってくださいと伝えてください。

東陽中もそうですし、かつ今、市内の学校の耐震化を進めているので、そういうことになっていまして、皆さんもご存知だと思いますけれど、いざ地震がおきた時に、どこに逃げるかというところ、ここは高台にありますので浸水することもないんですけど。例えば地域によっては、津波が来たときに、津波が一番高いところでは沿岸部では、3mくらいくるところもあると、最大です。ただ、そこまで来るところは市内では、そんなに広くはありません。ですので、3mくるかもしれないという地域には、電信柱のところ、皆さん見たことがあるかもしれませんが、青い看板でこの地面は海拔1.5mですとか書いて、ここは日ごろから低い場所ですよ、いざという時には逃げないといけませんよ、と啓発をしています。南海トラフの地震がいつくるかわからないと、30年以内には非常に高い確率でくるのではないかと、その時には我々の倉敷市も、震度5強・6弱くらいの地震と言われております。その時に皆さんが避難してもらえるのは、地域の小・中学校ということなので、今、耐震化を進めています。東陽中もそうですし、茶屋町の小学校もそうです。

さっきは中学校のことだったね。小学校と勘違いしていました。ごめんなさい。東陽中も今、プレハブが建っていますよね。子どもの数の推移を見て、今どうするか検討しています。私がさっき説明したのは小学校でした。中学校は今の状況を基にして、検討しているので、中学校は2・3年以内には解消しないと思います。でも子どもの状況を見て、もう1棟、新しく建てるかどうかを検討しています。すみません、よろしくお願いします。ありがとうございました。

参加者 H さん

倉敷は楽天のキャンプ地だと思うんですけど、市長ならではの特権ってありますか。

市長

市長ならではの特権ですか。さっきの日本一の話で忘れていたのが、楽天のことです。楽天の星野さんは倉敷市の水島の出身です。中学校は水島中学校、確か小学校は第四福田小学校だったか、高校は倉敷商業高校、ということで大変倉敷市には愛着を持ってくれています。それで星野さんは中日の時にも、阪神の時にも、倉敷にキャンプに来て、楽天の時にもキャンプに来て、いずれも優勝して、楽天では日本一になりました。

それで特権はというと、星野監督がキャンプに来る度に会えるということですね。あとそれから、監督だけでなく選手も来るので、マー君にも会ったことがあるのと、この前ゴールデングラブ賞をもらった藤田和也君、セカンドなんですけど、非常に性格が良くて、優しい選手のサインボールをもらったこともあります。

それは私自身にとってのメリットなんですけど、倉敷市にとってすごいうれしい良いことは、この前、日本一になって倉敷に秋のキャンプに来てくれました。その時に私が市民

の皆さんを代表して花束を渡したんだけど、それが7時の全国ニュースの最後のスポーツのところを出たらしくて、結構見ていた人が多かったみたいで、倉敷はそういう美観地区だけでなく、スポーツでもすごく有名なんですってと言われることが多くなったりしたこととか、それから楽天からいうと倉敷のキャンプは非常に縁起がいいものだと、色んなところで星野監督とかが言ってくれているので、倉敷市は良い場所だということをPRしてくれたりということがあります。

ご存知のようにフィギュアスケートの高橋大輔選手も、水島連島の出身ですし、色々なスポーツに強い方がでてくれるというのも有難いです。また、音楽家の人とか、芸能人の方とかもいらっしゃるの、皆さんに倉敷の情報を提供して、何かの時に倉敷出身なんですって言うようにして、PRしたりしています。ありがとうございます。

(参加者の方の申込書にある関心事を見ながら)いっぱい色んな質問があるんですが、「学生時代に何か取り組んだことはありますか」、「道路が狭い」、「なぜ、市長になろうと思ったんですか」とか質問がありますね。私が最後に1つか2つくらい、今ご質問をいただいたこととかも含めて、皆さんにエールのようなものを言いたいです。

私が市長になって5年半ですけど、市長になろうと思ったきっかけは何ですかという質問がありましたが、自分自身のきっかけはなかったです。私は元々、政治家になろうとは思ってなくて、大学をでて公務員になって、最初は総務省という東京の役所で働いていました。国の全体の仕事に関わって、国全体が良くなったらいいなと思って、仕事をして、そこから倉敷市役所に出向になりました。ここで5年くらい仕事をして、それで、たまたま選挙にでるということになりました。勿論、出る時に、国の仕事を辞めないといけない、かつ、こっちに帰ってきて受かるかどうか、選挙なのでわからないのでどうしようかずいぶん悩んだんです。その時に自分が思ったことをよく聞かれるんです。何でなったんですかと言われて、1つにはやってもらいたいと言ってくれる人がすごく多かった、自分に期待をしてくださった人に、応えることができたらなと思ったのが1つと。

皆さん、これから色々な人生を進む中で、決断を迫られる時があるんじゃないかと思います。こっちにしようか、どっちにしようかと色々考えた時に、私も受かるかどうかわからないのに出てもどうしようか、国にいたら他の仕事もあるのにと、色々悩んだんですけど、最後まで悩んでも中々結論が出なかったの、出ない、出なかったのに自分がなんでこんなに悩んでいるのかと思いました。自分が倉敷市のことが非常に好きだし、もっと良くなってもらいたいと思っているから、悩んでいる訳で、なんとも思っていなかったら、悩んでいないと。そういうふうにしたんです。知っている方もいらっしゃるかもしれませんが、私自身は中学校まで、福岡で育ちまして、その後、東京の高校と大学に行き、東京で就職して、そこから倉敷に来ました。倉敷に来たのは平成15年でした。ただ、父親の元々の先祖が倉敷と合併をした真備町にゆかりがあるということで、倉敷の真備にはこれまでも何回か来たことはあったんですけど、自分自身がここに住んだのは初めてだったんです。それでもこの町が良くなればいいなと思って来たというのがあったので。これは1つの例ですけど。

自分が色々悩んだ時とか、自分が物事をする時、質問の中にもありましたが、「自分が話をするときに何に気をつけて話したら良いですか」、その時に、思うのが、私が今日もそうですけど、市長として挨拶を色んなところであることがあります。人にお話をすることが多いです。勿論、紙を読めば紙には文字は書いてあるんだけど、それでは本当の自分の気

持ちとか考えは出てこないと思います。その時に紙を見て、紙にこう書いてあるから、こう言いますということでは、自分の頭にも心にも入っていないので、それは相手の人にも、中々伝わらないんじゃないかと思います。それは相手が会社だったり、子供だったり、色々あると思いますが。ですので、自分が本当に体験をしたり、興味を持って取り組んだり、何でこうなっているんだろうと思って考えたり、若しくは何でこの会社に受験しようと思って、好きなんなら、なぜ好きなのかということをしごくよく考えて、若しくはその会社に就職・仕事をするによって自分は何を求めているんだろうということを考えて、それを言うことが重要なんじゃないかと思います。というのも私がいつも話をするときには皆さんから、市長は結構よくペラペラとしゃべれて良いねと言われることも、よくあるんですけど、私も中々、自分の頭に入っていないというか、腑に落ちていないことは口から出てこないんですよ。自分がよく理解をしていることだったら、自信を持って話すことができるけれども。そうじゃなくて、紙に書いてあることを読んだらいいというのだったら、中々それは口からも出てこないし、相手の人にも伝わりにくいんじゃないかと。それは相手が子どもさんでも、会社の人でも、親でも、地域の人でも同じだと思います。

皆さん中々、勉強が大変なので、色んな所に行く時間も限られてくると思いますけれども、この倉敷市には本当に日本一とか、世界一とか、自分の地域だけでも、ものすごい歴史があります。藤戸の事ばかり言って、恐縮ですけど、藤戸にある藤戸饅頭っていうのがあります。みんな知っている？藤戸饅頭食べたことがありますか。少ないですね。藤戸饅頭っていうお饅頭があるんですね。これは中国地方で一番古いお饅頭屋さん、お店です。中国地方で創業863年だったと。ですので、せっかく倉敷市で勉強しているんだから、地域のこととかに興味を持って、行ってもらって観光して、勿論最初は見るとは思いますが、何でここがこの場所にあるのか。さっき私も言いましたけれども、児島・水島・玉島とか島ばかりですね。とか若しくは、倉敷には倉敷市役所のすぐ近くの地名で、笹沖若しくは新田、町の中にあるのに、何で笹沖、「おき」なのか、とかすぐ近くには船倉、「ふねのくら」と書きますが、小町トンネルの近くに船倉という地名があります。何で町の中なのに船倉なのかとか、そういう色んなことに興味を持って、倉敷のことでもいいし、皆さん地元のことでもいいと思いますので、いくつか深く興味を持ってもらえたら、すごくいい学生時代であり、かつまた、自分が社会に進む時に、一つの糧になるのではないかと思います。

皆さんがこの学校で、倉敷で、何年間か勉強されたということは、倉敷出身の方はもとより、他の地域から来られている方は、大学どこだったのと聞かれた時に、倉敷ですよと言ったら、倉敷は良いところねと、絶対言われると思いますので、そのことを誇りに思って、これからの人生を頑張ってくださいと思います。あちらこちらに話がいきまして、取りとめのない話になりましたけれども、皆さんのこれからのすばらしい人生に心からエールを送りまして、また学校もアルバイトも自分の研究も忙しいと思いますけれど、体につけて頑張ってくださいと思います。今日は貴重な時間をいただきまして、ありがとうございました。以上で、市民ふれあいトークとさせていただきます。どうもありがとうございました。